



SDGsボードゲーム 競技全国大会を通じて

2等陸曹 谷川 智哉



自衛隊群馬地方協力本部高崎地域事務所（所長 2等陸尉 宮本 直樹）は、令和6年8月18日（日）に第2回SDGs競技全国大会を支援した。

令和6年2月18日（日）に実施された第1回SDGsボードゲーム競技交流大会に引き続き、SDGsボードゲーム群馬県実行委員会より依頼を受け支援したもので、今回の大会は、高崎商科大学の学生、東京農業大学第二高等学校JRCボランティア部の生徒等と会場設営や準備の他、審判等を行った。

競技会場には約20箇所のゲームブースが設けてあり、群馬県内の高校生及び中学生約160名がSDGsに関する17の目標に対し、ボードゲームにより課題や解決事例を学びながらスコアを競い合いました。各チームは、課題について話し合い、真剣に考えながらボードゲームを楽しんでいました。

参加した生徒たちからは、「ボードゲームを通してSDGsに関心を持つことができました。」「自分たちができる事、リサイクルやリユース等から始めてみよう思っただ。」勉強になった。」と建設的なコメントを頂きました。

今回の大会支援により、私たち自身もSDGsに関する知識を学ぶとともに理解を深めることができました。また、支援を行ったボランティアの生徒とのコミュニケーションを図ることができ、爽りあるものとなったことは、大変な喜びです。

群馬地方協力本部は、引き続き学校及び関係者と連携協力して、各種大会の支援に積極的に参加し、社会貢献を行っていく。

